

令和3年度事業報告

令和3年度において実施した事業については、次のとおりである。

第1 概 要

1 健康診断事業の推進

令和2年度は新型コロナウイルス感染の影響で全体で対前年比約8.8%にあたる62,969人の受診者が減少したが、今年度は受診者数の回復を目標に、感染症対策（定員数の減少、マスク着用、手指消毒、検温など）を徹底し、市町村及び事業所等と連携を図って健診事業を実施した。その結果、住民健診・事業所健診事業について、特定健康診査、定期健康診断、協会けんぽ健診及びドック健診の実施数が、前年度比約4.0%にあたる5,710人増加の147,095人の実施となり、がん検診等についても、すべてのがん検診で増加となり、がん検診等で前年度比約3.7%にあたる延人数18,271人増加の507,069人の実施となった。

2 大腸がん検診モデル事業

大腸がん検診モデル事業については、昨年度より4市町村多い7市町村（五所川原市、十和田市、五戸町、南部町、鶴田町、三戸町、新郷村）から委託を受け、大腸がん検診未受診者を対象に便潜血検査を6,213人に勧奨したところ、22.7%にあたる1,410人の実施となった。検査の結果、要精検者は107人（7.6%）となり、令和4年度についても各市町村の希望により実施することとした。

3 がん検診受診率・精検受診率の向上強化

コロナ禍の中にあっても受診率の向上強化のため、40市町村中、申込のあった33市町村に受診勧奨パンフレットを155,000部作成し配布した。また、各市町村及び各事業所等に精密検査の受診率向上を目的とした精検受診勧奨パンフレットを14,000部作成し配布した。

4 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチン接種に係る基本型接種施設として、令和3年度において青森県及び関係市町村から接種業務を受託し、延べ60,632件のワクチン接種を実施した。

5 検診機器等の整備

- | | |
|---------------------|--------|
| (1) 多目的デジタルX線TVシステム | 1台（更新） |
| (2) 胃部集団検診X線システム | 1台（更新） |
| (3) 新総合健診システム | 改修 |

第2 通常事業

1 検診及び受託検査等の総括

市町村、事業所等の委託を受け、検診・検査事業を弘前大学大学院医学研究科、保健所、医師会及び医療機関の協力・指導のもとに次のとおり実施した。

前年度では新型コロナウイルス感染拡大により全体では延べ62,218人減少となり、今年度は24,050人の回復となった。

また、受託検査等については、細胞診の受託数が69人の増加となった。

検診及び検査等総括表

単位：人

年度 検診項目	令和3年度	令和2年度	増減(△減)	備考
1 特定健康診査	53,313	49,390	3,923	
2 定期健康診断	68,472	67,293	1,179	
3 人間ドック健診	5,930	5,821	109	
4 協会けんぽ健診	19,380	18,881	499	
特定健康診査等 計	147,095	141,385	5,710	
5 結核検診	144,091	141,037	3,054	
6 肺がん検診	82,952	79,583	3,369	
7 胃がん検診	69,425	66,879	2,546	
8 大腸がん検診	97,449	94,806	2,643	
9 子宮がん検診	37,830	35,144	2,686	
10 乳がん検診	23,109	20,691	2,418	
11 前立腺がん検診	19,570	18,689	881	
12 学校心臓検診(心電図検査)	10,035	10,391	△ 356	
13 骨密度測定検診	8,815	7,899	916	
14 腹部超音波健診	11,830	11,502	328	
15 特定保健指導	1,963	2,177	△ 214	
がん検診等 計	507,069	488,798	18,271	
16 細胞診受託検査	25,521	25,452	69	
受託検査等 計	25,521	25,452	69	
総延人数	679,685	655,635	24,050	

2 各種検診、検査等別実施状況

(1) 特定健康診査

健診車5台、機器運搬車7台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は 53,313人で、そのうち要精検は 10,669人（20.0%）、医療継続は33,249人（62.4%）、要指導8,614人（16.2%）となった。

特定健康診査実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		医療継続		要指導		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
出張検診	市町村	45,217	8,636	19.1	29,297	64.8	6,748	14.9	581	78
	社保等	3,257	804	24.7	1,478	45.4	851	26.1		6
センター	市町村	3,833	996	26.0	2,112	55.1	671	17.5	64	60
	社保等	825	194	23.5	302	36.6	268	32.5	239	3
健管センター	社保等	181	39	21.5	60	33.1	76	42.0	118	2
合計		53,313	10,669	20.0	33,249	62.4	8,614	16.2	1,002	53

(2) 定期健康診断

事業所の従業員等を対象にコース別に実施した。

Aコースで13,130人、Cコースで 44,920人、その他のコースで 10,422人の計68,472人が受診し、受診者の22.3%に当る 15,257人が要精検となり、38.7%に当る26,498人が要指導となった。

Aコース 34歳以下の者及び36歳以上39歳以下の者を対象とする。

(胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診)

Cコース 35歳の者及び40歳以上の者を対象とする。

(胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診・心電図検査・貧血検査・血糖検査・肝機能検査・血中脂質検査・腎機能検査)

その他のコース 簡易健康診断等

定期健康診断実施状況

方式別	実施人員				要精検		要指導		実施日数	一日当り 実施人員
	Aコース	Cコース	その他の コース	計	人員	率	人員	率		
出張検診	9,205	30,045	9,222	48,472	10,771	22.2	18,064	37.3	676	72
センター	2,219	9,318	1,059	12,596	2,748	21.8	5,156	40.9	244	52
健康管理センター	1,706	5,557	141	7,404	1,738	23.5	3,278	44.3	363	20
合計	13,130	44,920	10,422	68,472	15,257	22.3	26,498	38.7	1,283	53

(3) 人間ドック健診

ア. 一日ドック簡易コース

各事業所の委託を受け前年度 563人より12人増加の 575人に実施し、35.7%に当る205人が要精検となり、27.7%に当る 159人が要指導となった。

イ. 一日ドック標準コース

各事業所の委託を受け前年度 3,965人より27人増加の3,992人に実施し、34.9%に当る 1,393人が要精検となり、23.9%に当る954人が要指導となった。

ウ. 二日コース

各事業所の委託を受け前年度 109人より2人減少の 107人に実施し、35.5%に当る38人が要精検となり、18.7%に当る 20人が要指導となった。

エ. その他のコース

各事業所の委託を受け前年度 1,184人より72人増加の 1,256人に実施し、31.0%に当る 489人が要精検となり、21.4%に当る 269人が要指導となった。

○人間ドック健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	ドックセンター	健管センター	合計
肺がん検診	5,312	580	5,892
胃がん検診	4,439	491	4,930
大腸がん検診	5,192	480	5,672
子宮がん検診	1,597		1,597
乳がん検診	1,988		1,988
前立腺がん検診	3,027	373	3,400
腹部超音波健診	5,317	579	5,896
骨密度測定検診	2,264		2,264

(4) 協会けんぽ健診

全国健康保険協会の委託を受けセンター 4,895人、附属あおもり人間ドックセンター901人、附属あおもり健康管理センター13,584人、計19,380人実施し、前年度18,881人より499人増加となった。

○協会けんぽ健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	センター	ドックセンター	健管センター	合計
結核検診	4,849	722	13,539	19,110
胃がん検診	3,017	487	10,345	13,849
大腸がん検診	4,110	864	12,864	17,838
子宮がん検診	231		818	1,049
乳がん検診	237		685	922
腹部超音波健診（付加）	69	56	222	347

(5) 結核検診

検診車11台による出張検診とセンター診療所で、原則として65歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村（一般住民）46,662人、事業所 71,445人、学校関係 15,374人（高校生 9,314人、大学生 5,219人、その他 841人）施設 10,610人、計 144,091人で、前年度よりも 3,054人の増加となった。

なお、受診者 144,091人中 1.8%の 2,601人が要精検となった。

結核検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	43,835	311	0.7	579	76
	事業所	36,520	486	1.3	716	87
	学校関係	15,323	186	1.2		
	施設	10,610	883	8.3		
	小計	106,288	1,866	1.8	1,295	82
センター	市町村	2,827	0	0.0	67	42
	事業所	14,048	257	1.8	242	58
	学校関係	51	0	0.0		
	施設	0	0	0.0		
	小計	16,926	257	1.5	309	55
健管センター	事業所	20,877	478	2.3	342	61
合計	市町村	46,662	311	0.7	646	72
	事業所	71,445	1,221	1.7	1,300	75
	学校関係	15,374	186	1.2		
	施設	10,610	883	8.3		
			144,091	2,601	1.8	1,946

(6) 肺がん検診

原則として40歳以上の者を対象とするX線撮影をベースとし、50歳以上のハイリスク者には喀痰細胞診検査を併せて実施した。

ア. X線撮影	受診者は市町村(一般住民) 59,705人、事業所 22,675人、事業所(C T) 572人の計 82,952人で、2.2%に当る 1,836人が要精検となった。
イ. 喀痰細胞診検査	受診者は市町村(一般住民) 811人、事業所 1,171人の計1,982人で、その 0.3%に当る 6人が要精検となった。

肺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	54,957	1,332	2.4	547	100
		事業所	14,601	192	1.3	262	56
		小計	69,558	1,524	2.2	809	86
	センター	市町村	4,748	134	2.8	64	74
		事業所	2,375	40	1.7	174	14
		小計	7,123	174	2.4	238	30
	ドックセンター	事業所	4,741	71	1.5	211	22
	健管センター	事業所	958	13	1.4	205	5
		市町村	59,705	1,466	2.5	611	98
		事業所	22,675	316	1.4	852	27
		小計	82,380	1,782	2.2	1,463	56

X線撮影(CT)	ドックセンター	事業所	559	49	8.8	185	3	
		事業所(二次)	13	5	38.5			
	小 計	572	54	9.4				
X線撮影		市町村	59,705	1,466	2.5	611	98	
		事業所	23,247	370	1.6	1037	22	
		合計	82,952	1,836	2.2	1,648	50	
喀痰検査		出張検診	市町村	789	3	0.4	547	1
			事業所	414	1	0.2	262	2
			小 計	1,203	4	0.3	809	1
		センター	市町村	22	0	0.0	64	0
			事業所	132	0	0.0	174	1
			小 計	154	0	0.0	238	1
		ドックセンター	事業所	451	0	0.0	172	3
		健管センター	事業所	174	2	1.1	96	2
			市町村	811	3	0.4	611	1
			事業所	1,171	3	0.3	704	2
			合 計	1,982	6	0.3	1,315	2

(7) 胃がん検診

検診車8台とセンター診療所で、原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 38,401人、事業所 31,024人の計 69,425人で、6.6%に当る4,565人が要精検となった。

胃がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り 実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	36,065	2,697	7.5	1,096	33
		事業所	8,992	444	4.9	346	26
		小 計	45,057	3,141	7.0	1,442	31
	センター	市町村	2,336	191	8.2	139	17
		事業所	5,844	309	5.3	424	14
		小 計	8,180	500	6.1	563	15
	ドックセンター	事業所	3,271	184	5.6	213	15
	健管センター	事業所	11,749	660	5.6	338	35
	合 計	市町村	38,401	2,888	7.5	1,235	31
		事業所	29,856	1,597	5.3	1,321	23
			68,257	4,485	6.6	2,556	27
	内視鏡検査(ドックセンター)		事業所	1,168	80	6.8	211
合 計		市町村	38,401	2,888	7.5	1,235	31
		事業所	31,024	1,677	5.4	1,532	20
			69,425	4,565	6.6	2,767	25

(8) 大腸がん検診

原則として、40歳以上の者を対象にS P I A法による免疫便潜血検査(2日法)で実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 58,673人、事業所 38,776人の計 97,449人で、5.1%に当る5,008人が要精検となった。

大腸がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	54,147	3,149	5.8
	事業所	11,448	457	4.0
	小計	65,595	3,606	5.5
センター	市町村	4,526	215	4.8
	事業所	7,506	315	4.2
	小計	12,032	530	4.4
ドックセンター	事業所	5,154	209	4.1
健管センター	事業所	14,630	657	4.5
合計(便潜血検査)	市町村	58,673	3,364	5.7
	事業所	38,738	1,638	4.2
		97,411	5,002	5.1
内視鏡検査(ドックセンター)	事業所	38	6	15.8
合計	市町村	58,673	3,364	5.7
	事業所	38,776	1,644	4.2
		97,449	5,008	5.1

(9) 子宮がん検診

検診車2台とセンター診療所で、原則として隔年で20歳以上を対象とする子宮頸がん検診をベースとし、40歳以上、最近6ヶ月以内に不正性器出血症状があった者のうち、医師が判断して本人の同意を得た者には子宮体がん検診を実施した。

子宮頸がん検診受診者は、市町村(一般住民) 33,124人、事業所 4,706人の計 37,830人で、受診者の 1.7%に当たる 625人が要精検となった。

子宮体がん検診は、頸がん検診受診者 37,830人の 0.3%に当たる 114人に実施した。

子宮がん検診実施状況

1) 子宮頸がん検診

方式別	区分	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	16,466	150	0.9	268	61
	事業所	486	9	1.9	10	49
	小計	16,952	159	0.9	278	61
センター	市町村	1,746	23	1.3	57	31
	事業所	1,300	27	2.1	16	81
	小計	3,046	50	1.6	73	42
ドックセンター	事業所	1,597	21	1.3	108	15
健管センター	事業所	1,323	25	1.9	41	32
日母検診	市町村	14,912	370	2.5		
合計	市町村	33,124	543	1.6	325	
	事業所	4,706	82	1.7	175	
		37,830	625	1.7	500	

2) 子宮体がん検診

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	2	0	0.0
日母検診	市町村	112	4	3.6
合計	市町村	114	4	3.5

(10) 乳がん検診

検診車3台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として隔年で40歳以上を対象に実施した。

実施方法は、40～59歳はマンモグラフィ2方向撮影、60歳以上はマンモグラフィ1方向撮影とした。

受診者は、市町村(一般住民) 18,864人、事業所 4,245人の計 23,109人で、5.3%に当る1,226人が要精検となった。

乳がん検診実施状況

方式別	区分	方法	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員		
				人員	率				
出張健診	市町村 事業所	X線	16,868	822	4.9	276	61		
		X線	287	18	6.3				
		計	17,155	840	4.9				
センター	市町村 事業所	X線	1,996	125	6.3	57	35		
		X線	802	45	5.6				
		計	2,798	170	6.1				
ドックセンター	事業所	超音波	482	21	4.4	127	超音波		
		X線	35	1	2.9		15		
		超音波+X線	1,471	125	8.5		X線		
		計	1,988	147	7.4		12		
健管センター	事業所	X線	1,168	69	5.9	134	9		
合計	市町村	X線	18,864	947	5.0	333	57		
		超音波	482	21	4.4				
	事業所	X線	2,292	133	5.8			286	超音波
		超音波+X線	1,471	125	8.5				X線
計	4,245	279	6.6	13					
合計		超音波	482	21	4.4	619	超音波		
		X線	21,156	1,080	5.1		15		
		超音波+X線	1,471	125	8.5		X線		
		計	23,109	1,226	5.3		37		

(11) 前立腺がん検診

原則として、50歳以上の男性を対象に実施した。受診者は、市町村 9,919人と事業所 9,651人の計 19,570人で、5.4%に当る1,056人が要精検となった。

前立腺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	9,881	672	6.8
	事業所	3,693	164	4.4
	小計	13,574	836	6.2
センター	市町村	38	0	0.0
	事業所	857	41	4.8
	小計	895	41	4.6
ドックセンター	事業所	3,027	100	3.3
健管センター	事業所	2,074	79	3.8
合計	市町村	9,919	672	6.8
	事業所	9,651	384	4.0
		19,570	1,056	5.4

(12) 学校心臓病検診(心電図検査)

受診者は 10,035人で、要精検は 1.5%の 152人、要観察は 0.7%の 70人となった。

学校心臓病検診実施状況

	実施人員	要 精 検		要 観 察		合 計		実施日数	1日当り 実施人員
		人員	率	人員	率	人員	率		
小学校	5,018	66	1.3	21	0.4	87	1.7	68	121
中学校	3,182	39	1.2	28	0.9	67	2.1		
高等学校	1,669	42	2.5	20	1.2	62	3.7	16	104
大 学	166	5	3.0	1	0.6	6	3.6	1	166
合 計	10,035	152	1.5	70	0.7	222	2.2	85	118

※青森市教育委員会(小学校1,804人 中学校2,032人)合計3,836人は判定なしのため、実施人数には加算していない。

(13) 骨密度測定検診

D X A法(前腕骨骨塩量測定)及び超音波法(踵骨骨量測定)で実施した。

ア. D X A法……………市町村(一般住民) 4,054人、事業所 1,042人、ドック2,264人の計 7,360人で、受診者の 6.3%に当る 464人が要精検となり、14.3%に当る 1,055人が要指導となった。

イ. 超音波法……………市町村(一般住民) 911人、事業所 83人、若年者 461人の計 1,455人で、受診者の 10.1%に当る 147人が要精検となり、27.6%に当る402人が要指導となった。

骨密度測定検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		要指導		合計		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
D X A法	市町村	4,054	375	9.3	734	18.1	1,109	27.4	136	30
	事業所	1,042	37	3.6	134	12.9	171	16.4	206	5
	ドック	2,264	52	2.3	187	8.3	239	10.6	187	12
	小計	7,360	464	6.3	1,055	14.3	1,519	20.6	529	14
超音波法	市町村	911	135	14.8	355	39.0	490	53.8	26	35
	事業所	83	9	10.8	28	33.7	37	44.6	3	28
	若年者	461	3	0.7	19	4.1	22	4.8	5	92
	小計	1,455	147	10.1	402	27.6	549	37.7	34	43
合 計	市町村	4,965	510	10.3	1,089	21.9	1,599	32.2	162	31
	事業所	1,125	46	4.1	162	14.4	208	18.5	209	5
	ドック	2,264	52	2.3	187	8.3	239	10.6	187	12
	若年者	461	3	0.7	19	4.1	22	4.8	5	92
		8,815	611	6.9	1,457	16.5	2,068	23.5	563	16

※ただし、若年者は再検査として分類をしているが要精検者として計上した。

(14) 腹部超音波健診

各事業所等から委託を受け、11,830人に実施し、その9.2%に当る1,086人が要精検となった。

腹部超音波健診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検	
			人 員	率
出張検診	市町村	383	33	8.6
	事業所	1,596	90	5.6
	小 計	1,979	123	6.2
センター	市町村	0	—	—
	事業所	848	66	7.8
	小 計	848	66	7.8
ドックセンター	事業所	5,317	402	7.6
健管センター	事業所	3,686	495	13.4
合 計	市町村	383	33	8.6
	事業所	11,447	1,053	9.2
		11,830	1,086	9.2

(15) 特定保健指導

各市町村及び各医療保険者との委託契約のもと、40～74歳までの者を対象に実施した。受診者は、動機づけ支援 1,106人、積極的支援 857人の計 1,963人となった。

腹 囲	追加リスク		対 象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧	喫 煙	40～64歳	65～74歳
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当	あり	積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	なし		
上記以外で BMI 25以上	3つ該当	あり	積極的支援	動機づけ支援
	2つ該当	なし		
	1つ該当			

特定保健指導実施状況

	動機づけ支援	積極的支援	計
市町村	352	115	467
社保等	754	742	1,496
合 計	1,106	857	1,963

(16) 細胞診受託検査

県立中央病院などの各国公立病院及び関係医療機関からの委託を受け、婦人科、呼吸器科、体腔液及びその他の細胞診検査を 25,521件実施し、前年度よりも 69件の増加となった。

細胞診検査(部位別)実施状況

		陽 性	疑陽性	陰 性	判定不能	合 計
婦 人 科	膣 頸 部	47	1,448	19,698	34	21,227
	体 部	38	140	3,453	170	3,801
	そ の 他	1	11	75	8	95
	小 計	86	1,599	23,226	212	25,123
呼吸器科	喀 痰	2	4	63	40	109
	気 管 支	19	9	63	1	92
	小 計	21	13	126	41	201
体 腔 液	腹 水	2	0	8	0	10
	胸 水	12	4	26	1	43
	小 計	14	4	34	1	53

そ の 他	泌 尿 器	3	7	101	14	125
	乳 腺	0	0	1	0	1
	甲 状 腺	0	0	1	0	1
	消 化 器	0	0	0	1	1
	そ の 他	4	0	12	0	16
	小 計	7	7	115	15	144
合 計		128	1,623	23,501	269	25,521
前 年 度		203	1,607	23,379	263	25,452

第 3 県からの委託事業の実施

令和 3 年度青森県生活習慣病検診従事者指導講習会

- (1) 大腸がん検診従事者指導講習会 (年1回)
中止
- (2) 肺がん検診読影従事者指導講習会 (年1回)
中止
- (3) 乳がん検診従事者指導講習会 (年1回)
中止
- (4) 胃がん検診読影従事者指導講習会 (年1回)
中止

第 4 普及啓発事業

1 各種検診等の広報普及活動の推進

がん征圧月間、結核予防週間、ピンクリボン月間、生活習慣病予防月間等の周知を図るため、各種保健衛生関連事業に協賛し、地元の新聞、テレビ、ラジオにより広告を行った。

2 普及宣伝資材の購入等

- (1) 結核、がん、生活習慣病等の予防及び健康の保持・増進に関する啓発資料を作成又は購入し各健康まつり（蓬田村）、各検診会場で配布した。
- (2) 結核予防会の広報誌「複十字」及び「日本対がん協会報」を定期購入し関係機関等へ配布した。
- (3) 当センター広報誌「やすらぎ青森」を年 2 回発行し、関係機関等へ延べ 900部配布した。

3 予防啓発の月間・週間の行事

- (1) 結核予防、がん征圧等の運動、啓発強化を目的として、月間及び週間の PR のため、ポスター・チラシ等の配布を実施した。
- がん征圧月間 (9月 1日～9月30日)
結核予防週間 (9月24日～9月30日)
生活習慣病予防月間 (2月 1日～2月28日)
- (2) 市町村等が実施する結核、がん又は生活習慣病の予防啓発事業、健康まつり等に参加協力し、パネル等を展示した。(令和 3 年度は健康まつり 1 件の実施)
- (3) 結核予防、がん征圧等の運動、啓発事業の一環として例年参加していた「RABまつり」が中止となった。

4 生活習慣病等集団検診従事者研修会

青森市において市町村及び事業所の保健師等を対象に開催していた研修会を二年連続中止とした。

第5 検診等協力団体への活動支援

1 青森県結核予防婦人会

(1) 結核予防週間期間にあわせて活動していた複十字シール運動街頭募金を中止とした。

2 青森県よろこびの会(がん克服者の会)

新型コロナウイルスの感染拡大により、総会並びに研修会を二年連続中止とした。

第6 募 金 活 動

1. 結核予防事業の普及啓発及び資金造成のため、青森県結核予防婦人会、その他関係団体の協力を得て、複十字シール運動の募金活動を次のとおり展開した。

- | | |
|----------|------------|
| (1) 運動期間 | 令和3年8月～12月 |
| (2) 目標額 | 3,500,000円 |
| (3) 募金額 | 1,409,776円 |

2. がん予防事業の普及啓発及びその資金造成のため、会員制による募金運動を次のとおり実施した。

- | | |
|----------|-------------|
| (1) 運動期間 | 令和3年9月～4年3月 |
| (2) 目標額 | 2,000,000円 |
| (3) 募金額 | 2,184,033円 |

個人会員(188人) 1,114,033円、法人会員(88法人) 1,070,000円

第7 理事会・評議員会・評議員選定委員会の開催

1 理事会

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 令和3年6月4日 | 決算の確定を目的 |
| 令和3年6月24日 | 役員理事の選定を目的(書面) |
| 令和4年3月1日 | 次年度事業計画及び予算の確定を目的(書面) |

2 評議員会

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 令和3年6月24日 | 決算の確定を目的 |
| 令和4年3月22日 | 次年度事業計画及び予算の確定を目的(書面) |

3 評議員選定委員会

- | | |
|-----------|-----------|
| 令和3年5月17日 | 評議員の選任を目的 |
| 令和3年9月17日 | 評議員の選任を目的 |

第8 会議・研修会の開催及び参加

1 県内の会議等

乳がん検診画像読影委員会	書面開催
前立腺がん検診精度管理委員会	オンライン開催
骨密度(骨粗鬆症)検診判定委員会	オンライン開催

特定健康診査等判定検討委員会	オンライン開催
胃がん検診読影委員会	書面開催
腹部超音波健診読影委員会	書面開催
子宮がん検診管理指導委員会	書面開催
大腸がん検診指導管理委員会	書面開催
健診従事看護師研修会	中止
循環器健診従事医師打合せ会議	中止
肺がん検診読影委員会	書面開催

2 県外の会議等

- (1) 結核予防会関係
- | | |
|----------------------|------------------|
| 結核予防全国大会 | (東京都) 3/8オンライン開催 |
| 事務局長研修会並びに全国支部事務連絡会議 | (東京都) 中止 |
| 東北・北海道ブロック会議 | (青森県) 開催延期 |
- (2) 日本対がん協会関係
- | | |
|--------------|---------------|
| がん征圧全国大会 | 9/8 オンライン開催 |
| 全国事務局長会議 | (東京都) 中止 |
| 東北・北海道ブロック会議 | (福島県) オンライン開催 |

第9 主たる学会の参加

日本消化器がん検診学会	(東京都) オンライン開催
日本消化器がん検診学会東北地方会	(福島県) Web開催
東北地区集検放射線技術部会	(秋田県) 中止
日本乳癌検診学会	(京都府) オンデマンド開催
日本臨床細胞学会 (春期大会)	(千葉県) Web開催
日本臨床細胞学会 (秋期大会)	(鳥取県) Web開催
細胞検査士教育セミナー	(東京都) Web開催
日本超音波医学会東北地方会	(青森県) Web開催